

ふるさとの植物を守ろう

江戸時代の園芸植物を 未来につなぐ



徳川将軍三代の花好きから始まったと言われる「江戸の園芸」。今から約150年前に来日した、英国の植物学者ロバート・フォーチュンは庭園のように美しい江戸の町や、大名から庶民まで、皆が花好きであることに驚嘆したといひます。世界が驚くほど江戸の花文化は素晴らしいものです。ツバキ、サクラ、ウメ、ツツジなどの花木からアサガオ、サクラソウ、ハナショウブ、そして個性的な斑入り植物やイワヒバなど幅広いジャンルで栽培され、その様子は浮世絵や文芸作品、資料などからも伺えます。この文化を一緒に広め、未来へつないでいきましょう！

シンポジウム参加申し込み 往復はがき 書き方見本

※104円の郵便往復はがきをご用意のうえ、下記を例に記入し、ポストにご投函ください。

往信おもて	返信うら	返信おもて	往信うら
郵便往復はがき 52円 往信 114-0014 東京都北区 田端1-15-11-201 (公社)日本植物園協会 シンポジウム係	この面が外側になるよう 左の折り目で折って ポストにご投函ください	郵便往復はがき 52円 返信 参加申し込み者の ご住所 ご氏名	12月14日のシンポジウム 参加申し込みします。 住所 〒 氏名 年齢 電話番号 懇親会参加希望の有無 懇親会に参加希望の方は 必ずその旨明記ください
			12月14日のシンポジウム 終了後、17:30より 参加者のみなさまと 講師の先生を囲んで 懇親会を予定しています。 懇親会への参加希望の 有無も、シンポジウム 申し込み往復はがき にご記入ください。 懇親会の参加費は 3,000円です。

日本植物園協会 会員募集のご案内

全国的な植物園ネットワークを通じて、植物園および植物に関する文化の発展に寄与する当会は来年、法人創立50周年を迎えます。

2020年東京オリンピックでは、江戸時代に咲いた園芸文化を海外に広くアピールする予定で、これからも未来に向けて植物文化をつないでいきます。

あなたも植物園と共に植物を守り広めていきませんか？ただ今、会員を募集中です。

賛助会員（個人）：年会費1万円。詳細はシンポジウム会場にて係員に、または電話で事務局へお問合せください。（賛助会員（団体）も募集しております。）

シンポジウム会場

千代田区立日比谷図書文化館

千代田区日比谷公園1番4号（旧・都立日比谷図書館）

アクセス

東京メトロ 丸の内線・日比谷線・

千代田線「霞ヶ関駅」B2・C3出口より徒歩約5分

都営地下鉄 三田線「内幸町駅」

A7出口より徒歩約3分

東京メトロ 千代田線・日比谷線「日比谷駅」

A14出口より徒歩約5分

JR 新橋駅 日比谷口より 徒歩約10分

